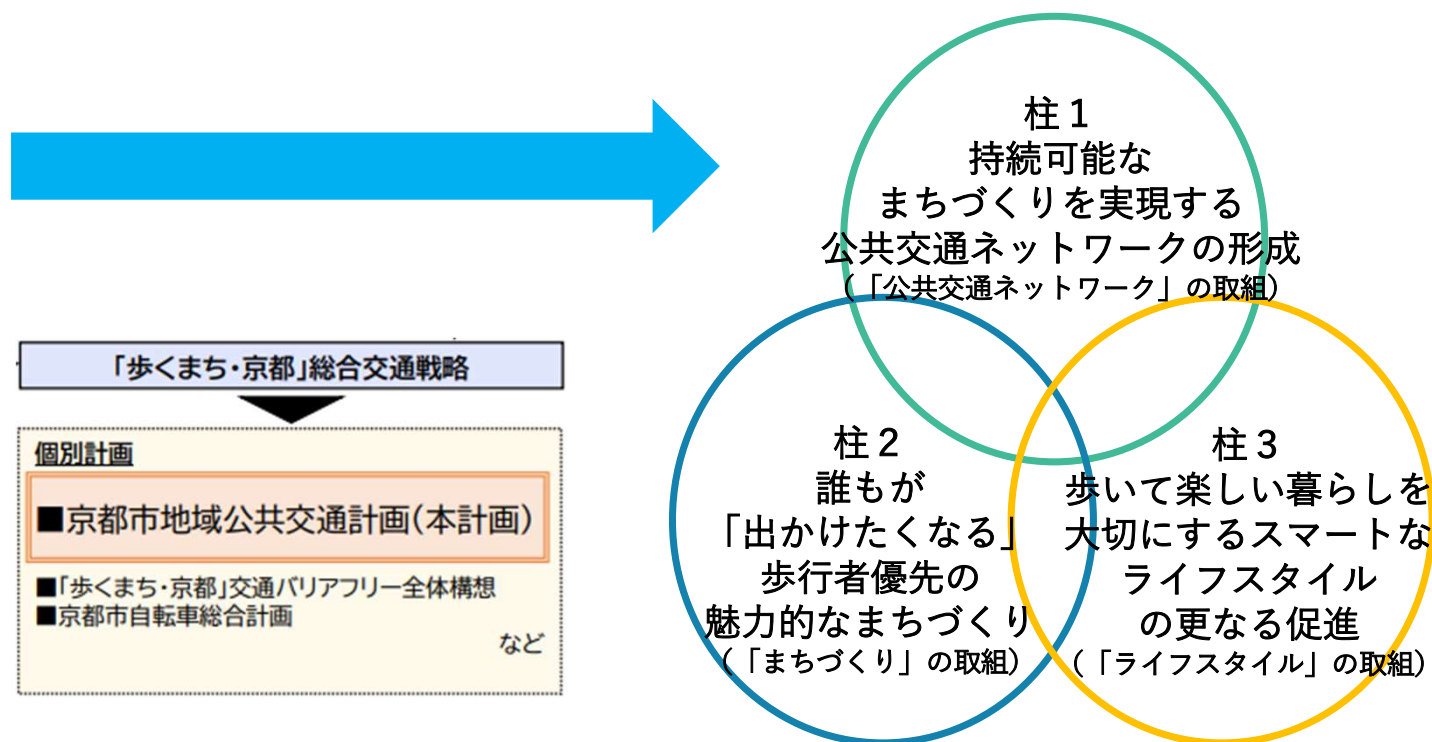


「京都の都市交通のあり方検討」について

(参考資料 5)

1 「京都の都市交通のあり方検討」を進めるに至った背景等

「「歩くまち・京都」総合交通戦略2021」(令和3年11月)策定以降、同戦略の3つの柱に掲げた方針、施策等に基づく取組を展開



- 「歩くまち・京都」の実現に向けたまちづくりを着実に進める中、バス運転士の担い手不足や、観光客数の回復に伴う都市部での混雑、郊外での利用者数の減少などの交通課題が顕在化。一方で、自動運転等の技術革新も進んでおり、「京都の都市交通の未来についてどうしていくべきか」といった観点で、改めて検討を進めていく必要があると思料
- 同戦略に基づく取組の点検を行ったうえで、市民の利便性向上や地域の活性化、交通課題の解決に繋がる交通施策について、どういったものが京都に相応しく、導入に向けての検討を深めていくべきかを、調査・検討してまいりたい。

2 予算額（令和8年度）

5, 0 0 0万円

3 令和8年度における調査・検討内容（案）

- ① 交通体系を検討するうえで必要となる現況調査
（人口動向、公共交通の利用状況、観光客数、自動車交通量・混雑度 等）
 - ② 現況調査やこれまでの取組状況、国内外の事例等を踏まえた課題整理
 - ③ 上記①②を踏まえ、望ましい公共交通ネットワーク像の明確化とその実現に向けた課題と対応策の整理
 - ④ 上記③の公共交通ネットワーク像の実現に向けて、検討を深めていく新公共交通システム等の調査
 - ⑤ 関係団体等との連携や意見聴取の検討・実施
 - ⑥ デマンド交通の導入可能性の調査・検討
- ⇒ 令和8年度の検討結果を踏まえ、令和9年度には望ましい公共交通ネットワーク像の実現に向けた具体的検討等を実施予定